

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三三・四七二
毎週一回発行

9月議会 2024年度決算質疑

市民の暮らしと営業を守る施策を

高齢者のおいでんバス無料化を早く

市は「次期地域公共交通計画の重点取り組みとして、高齢者や子どもに向けた移動手段の充実を位置づける。おいでんバス無料化に向けた段階的取り組みとして、利用促進の実証実験を12月から3か月間おこなう。」としています。

高齢者外出促進支援事業は、70歳以上の市民のおいでんバスの割引定期券「おでかけパス70」で博物館等の施設に行った時に使えるクーポン券のための補正予算です。

利用者意見を把握するとともに、高齢者・大学生までのおいでんバス無料化、増便を早期に実施し、市民の要望に応えるべきです。

7割を占める小規模事業者のうち66%の事業者は赤字

市民税のうち法人市民税では、海外展開を広げる市内の多国籍大企業は、消費税の輸出還付金6800億円との試算結果があり、税法上の軽減措置を受けています。その一方で、市

内の事業者8,987のうち、法人の数で6,552と約73%を占めるのが1号法人で、そのうち、法人税割の税金を納められたのは約34%。あとの66%の事業者は赤字であった深刻な実態が、決算質疑で明らかとなりました。

水道料金値上げで7億円の市民負担増

3月の当初予算で試算した有収水量の減少に伴う給水収益の減少額は「1,9億円」でした。決算では、「1100万円余」の減少額という答弁でした。水道料金の値上げの理由とされた「水需要の減少による給水収益の減少」は、この数字から、値上げの理由とは言えません。

また、料金の値上げで見込まれていた増収額は、予算では「5,2億円」でしたが、

決算では、見込んでいた以上の「7億円」であり、大幅な市民への負担増であることがわかりました。この際、水道料金の値上げは中止・撤回し、市民の暮らしを守るべきです。



世界ラリー

市の負担増7500万円、来年にむけても2億円出資の補正多額の税金投入のラリーで、地域経済の活性化となるか

企業からの協賛金は減額となつても、産業振興に寄与する、とする世界ラリー選手権開催の意義との整合性を問う質問に対する答弁は…

市の答弁「世界ラリー選手権の開催意義は、山間地域を含む地域経済の活性化、日本国内にラリー文化を定着させることで、クルマに関心を持つ人の増加につなげ、ひいては、自動車産業を支え、未来への投資につながる」「企業から

の協賛金の獲得は世界ラリー選手権に関連性のある企業やラリージャパンを応援することで企業知名度やイメージを上げたいと思っている企業への営業活動を実施」

根本意見

企業からの協賛金は中止・減額したため、市の負担金を7500万円増やし、また、来年の

大型イベントのための多額の税金投入はやめ、住民の日々の暮らしを支え、農林業などの産業振興、命を守る防災と住み続けられるまちづくりの推進を図るべき。

スクールバスの運用見直しを検討

スクールバスの基準以外の地域から、運用の見直しの意見があがっています。

現在、全市一律の基準、小学校4キロメートル以上、中学校6キロメートル以上、を設け運用しています。

児童数が減少して集団での登下校が難しくなったり、動物との遭遇等の危険が心配されたりするなど、状況が変化していることから、運用の見直しの検討がされます。

節約? 限界!

消費税減税

石破政権は
消費税減税を
受け入れるべき

61.5%

共同 8/24

国会で早く実現を

先参院選では、すべての野党が消費税減税を公約。減税反対の自公は衆参とも少数に転落しました。多数派を占める減税公約議員が動けば、消費税減税はすぐにも実現できます。

SNSも使って、政党に公約実行を求めるメッセージを送りましょう

署名(右の二次元コード)を、知人、友人と一緒に集めましょう

署名でSNSで 与野党に実行を迫りましょう

署名用紙は
こちら



共産党の財源提案 社会保障を削る必要はありません

消費税を5%の財源は? 年に11兆円にもなる大企業への減税バラマキをやめる。もうけにふさわしく税負担してもらおう——社会保障をいっさい削らなくても、財源はつくれます。

国民がこれだけ苦しんでいるときに、過去最高の利益をあげる大企業も荷を担って、日本社会を支えるのは当然ではないでしょうか。

消費税の
党政策



あいち自治体キャラバン 事前学習会

10月5日(日) 午後2時～
豊田市福祉センター

主催: 豊田みよし社保協



- ◆法律相談は弁護士が
第2土曜日 午前10時～12時で
- ◆生活相談は随時、根本議員が対応
- ◆法律相談は要予約。お申し込みは
日本共産党西三地区委員会まで
電話 0564-23-2785
- ◆生活相談は根本議員まで
電話 0565-34-4772

無料

法律・生活相談
おこなっています



根本みはる
豊田市議員



もとむら伸子
衆議院議員



すやま初美
党中央委員